

豊かな自然を次世代へ
～只見町における
森林環境学習の実施～

只見町 産業振興課 農林班
主査 目黒 公俊

位置図



恵みの森

六十里越のブナ林

只見川に写る蒲生岳

只見町のまちづくり

平成18年3月に策定した第6次振興計画にて「ブナと生きるまち 雪と暮らすまち」を理念に掲げ、行政と住民の協働によるまちづくりをはじめました。

平成19年5月には「只見ブナセンター」を発足させ、同年7月には「自然首都・只見」を宣言し、恵まれた自然を次世代まで大切に引き継ぐことを誓いました。

また、平成21年10月に「ただみ・ブナと川のミュージアム」を開館し、現在「ユネスコエコパーク」の登録申請に向け取り組んでおります。

ユネスコエコパークとは

ユネスコエコパークは、以下の3つの機能をもって、「自然環境」と「人間活動」の共存の実現をすることを目的として設定される地域のことです。

- 1、自然環境の保全
(生物多様性の保全)
- 2、持続可能な社会・経済の発展と人材育成
- 3、学術調査・研究、教育・研修
(自然との共生を図るため)

只見町における
森林環境交付金事業の実績1

- 18年度 森林環境学習(朝日小、明和小)、ハンドブック作成
森林ボランティア支援
- 19年度 森林環境学習(只見小、朝日小)、ハンドブック作成
森林整備(野生動物との共生、里山)
- 20年度 森林環境学習(只見小、朝日小、只見中)
- 21年度 森林環境学習(只見小、朝日小、明和小、只見中)
森林ボランティア支援、森林整備、木製ベンチ設置、
ペレットストーブ設置
- 22年度 森林環境学習(只見小、朝日小、明和小、只見中)
森林ボランティア支援、ハンドブック作成
森林整備(野生動物との共生、里山)

只見町における
森林環境交付金事業の実績2

- 23年度 森林環境学習(只見小、朝日小、明和小、只見中)
講演会、ガイドブック等作成
森林整備(豪雨災害に伴う危険木除去)
- 24年度 森林環境学習(只見小、朝日小、明和小、只見中)
ガイドブック等作成
森林整備(豪雨災害に伴う危険木除去、里山整備)

森林環境学習
～ブナ林の散策～



森林環境学習
～森林文化の継承～



森林環境学習
～森林文化の継承～



森林環境学習
～学習内容の発表～



今後の課題

ブナをはじめとする豊富な天然林については、調査研究や教育の場として利用されている一方で、スギ等の人工林については、ほとんど活用されておらず、林業については衰退し手入れの行き届かない、里山は野生生物との境界をなくし、クマやサルによる農作物等の被害は増加しております。

今後の学習の中に、林業体験等を取り入れながら、森林を活用した循環型社会への取り組みを行っていかねばならないと思います。



ご清聴ありがとうございました